

《学校評価アンケート（保護者）への回答》
※ ○：保護者の意見、⇒：学校の回答

【学校評価アンケートについて】

○記名式のアンケートでは、教員の報復が怖くて正直な意見が出にくいと思います。先日、無記名で良いのではないかとお尋ねしたところ、「最近では、ネットを利用して無記名で行っている」旨の回答がありましたが、改善されていないと思います。

⇒現在、記名はしていただいておりますが、記名された保護者名についてはアンケートを集約する管理職のみで管理しています。質問に対する直接の回答や責任ある意見集約のため、現在の形式を継続していきたいと考えます。

○学校評価がいつからか保護者の自己反省的に変わっていますが、学校評価は実施されていないという認識でよろしいでしょうか。

⇒学校評価の結果は、吉野東中学校ホームページに掲載して報告しています。また、回答できるものについては、ホームページ及び安心メールでお知らせしています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【通学カバン問題について】

○前回のアンケートでも、意見を書かせていただいたことですが、吉野東中学校では、生徒の身体への負担を軽減する「置き勉」について、取り組みはされているのでしょうか？朝、吉野中の生徒が通る道を歩きますが、吉野東中の生徒の鞆ほど厚みがありません。補助バッグと合わせると、大丈夫なのかと心配になるくらい重いです。HP等での回答をお願いいたします。

⇒別紙のとおり、吉野東中学校でも市内の他の中学校と情報を共有しながら学校に置いてよい学用品は指定しているところです。ご確認ください。また、令和6年度から通学用力バンの変更も行い、より一層、生徒の身体への負担軽減を図ります。

【環境整備について】

○調理室用に置かれているゴムスリッパですが、永年使用されていないような気がします。もし今後使用する予定があるのであれば、衛生上問題があるのでは？と気になりました。

⇒家庭科で確認し、処分しました。

【進路指導について】

○今年度は進路関係のプリントを頂く機会がなく（昨年度は3年生の様子に合わせて頂いていました）、3年生が今どんな様子か、高校の情報等入ってこないのが残念に思いました。

⇒進路指導部と学年部の連携を高め、全校で生徒の進路指導に当たります。今後、全体への進路情報の提供のあり方について検討し、積極的な情報提供に努めてまいります。

【不登校対応について】

○不登校委員会というものがあるようだが、具体的にどのようなことをしているのか教えていただきたい。また、対象児への対応も示していただきたい。不登校児親同士の交流、個別相談、気軽に相談出来る環境等があればよい。また、進路のことや将来のことを早めにわかっていた方が方向性が掴めるから教えてほしい。

⇒不登校については個々の生徒の状況が異なるため、その状況に応じた対応を行っています。学校では毎月、不登校対策委員会を行い、市教育委員会等の関係機関とも連携を図りながら個別の対応を協議して支援しています。SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）や学習支援等の積極的な案内も行っています。また、フリースクール等の情報も収集し、相談も随時受け付けているところであり、対象の保護者には積極的に情報提供を行っているところです。

○不登校児への職員の接し方は、学校としてどのような方針なのか知りたいです。
⇒上記の不登校委員会での協議を受けて、保護者と教職員が密に連携を図りながら、共通理解のもとで個別に対応しています。

【学習指導について】

○本に親しんで欲しいが、図書室利用がクラスごとに決められていると聞いています。小学校に比べて図書室へ行く事が減り、なかなか読書が思うように出来ていない気がします。朝読書もあるので、もう少し利用頻度がしやすくなるといいのになと思います。

⇒図書館利用は、これまで感染症予防等の観点から学年別の利用で対応してきました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたのに伴い、2学年ずつ入館できるようにしました。また、一度に借りられる冊数も増やしているので毎日利用しなくても読書を楽しめているように感じます。生徒数も多くなり、一度に入館できる人数にも限りがあるため、昼休みは入館制限がありますが、放課後は毎日利用できる状態なので利用頻度は各自に任せています。

○テスト前など、昼休みに自由に自習できる自習室を作ってほしい。それが無理なら、せめてテスト期間中は図書室で自習できるようにしてほしい。

⇒吉野東中学校では、日頃から「昼休みに学習したい」という生徒の希望に答えて、休み時間の過ごし方を指導しています。昼休みの教室では、話をせず、静かに過ごすことを前提にしているので、自習（自学）は可能な環境にあります。「話をしたい」「身体を動かしたい」という生徒は校庭で行うように指導しています。

○1学期、2学期と定期試験を受けてみて、全体的に点数が低く、平均は超えてるからと話になります。が、平均も低い為、話にならず。勉強の理解もあまりできていないようです。学校でも勉強への理解が深まるような（わかりやすい）教育、やり方等を伝えて頂きたい。

⇒学習指導については、これまで同様、個に応じた指導の展開と探究的な学習の機会の充実を図っていきます。また、基礎学力の定着や家庭での学習習慣の確立などに課題があり、中学校だけではなかなか成果が上がらないため、吉野東小学校とも一緒になって、小中連携による学力の向上を図る研修を深めております。また、各教科とも授業を通じた研修にも努めており指導法改善に取り組んでいるところです。これからも学力向上に向けた取組を展開します。

○学業についていけない子供達にどのように対応されているのか？何か取り組みされている事があるのでしょうか。家庭でも声かけも行っている、が、なかなか変わらないのも事実。

⇒学校では「個別最適な学習」をテーマに掲げ、各教科で重点取組事項を決めて指導しています。また、デジタルドリルnavimaや問題等も活用して個別の指導と支援、家庭学習の推進に取り組んでいるところです。

【生徒指導について】

⇒生徒指導部を中心に、スクールサポーターをはじめ各関係機関とも連携し、心に届く生徒指導を引き続き行ってまいります。必要に応じて、保護者とも面談を行い、指導について共通理解を図るなど、各家庭と連携しながら個別の事例に対応しているところです。